

英国での不妊治療(2)



不妊症についての第二話です。治療について

不妊治療は、どのように行うのですか？

検査結果を確認後、実際の治療に入っていきます。自然妊娠が期待できる場合には、排卵時に合わせて夫婦生活を行うタイミング法を第一選択とすることが一般的です。この場合、基礎体温や市販の排卵検査薬により排卵日の自己チェックができますが、不正確なこともあります。超音波検査で卵胞の大きさを計測し、正確に排卵日を予測することが重要です。次に、必要に応じて内服剤による排卵誘発を行います。この排卵誘発剤は、卵巣から排卵を促す作用があるため、多数の卵子が排卵され多胎妊娠になる場合があります(5%以下)、副作用が少ないため初期治療に適しています。3-6回程度治療しても妊娠しない場合は、人工授精や体外受精といった治療に移行していきます。

英国で実際の治療を受けるには、どうすればいいですか？

NHS病院を受診する場合は、まずかかりつけの家庭医(GP)に不妊治療を始めたいことを伝え、NHS病院を紹介してもらいます。ただし、初診予約まで数ヶ月かかることもあります。また、体外受精による治療は原則1回のみで、すでにお子さんがいらっしゃる方や40歳以上の場合は体外受精を受けられないこともあります。プライベート病院の場合は、ロケーションや診療時間なども考慮してご自身でご予約いただけます。また、当クリニックを受診した後に現地プライベート病院への紹介を手配することも可能です。日系クリニックを受診する場合、専門医から日本語で説明を受けられるのは心強いと思います。検査や治療の日英における相違点などもアドバイスしてもらえると良いでしょう。

治療費が心配という声を聞きますが、、

NHS病院の場合には、原則無料です。英国のプライベート病院では、人工授精が£1,000、体外受精は£6,000程度かかり、日本での自費診療に比較して高価なのが実情です。検査や治療が可能な当クリニックの場合、3-4回の受診で必要な検査を行いますと£700-1,000位となります。また、排卵誘発剤内服などの初期治療をお受けいただけます。